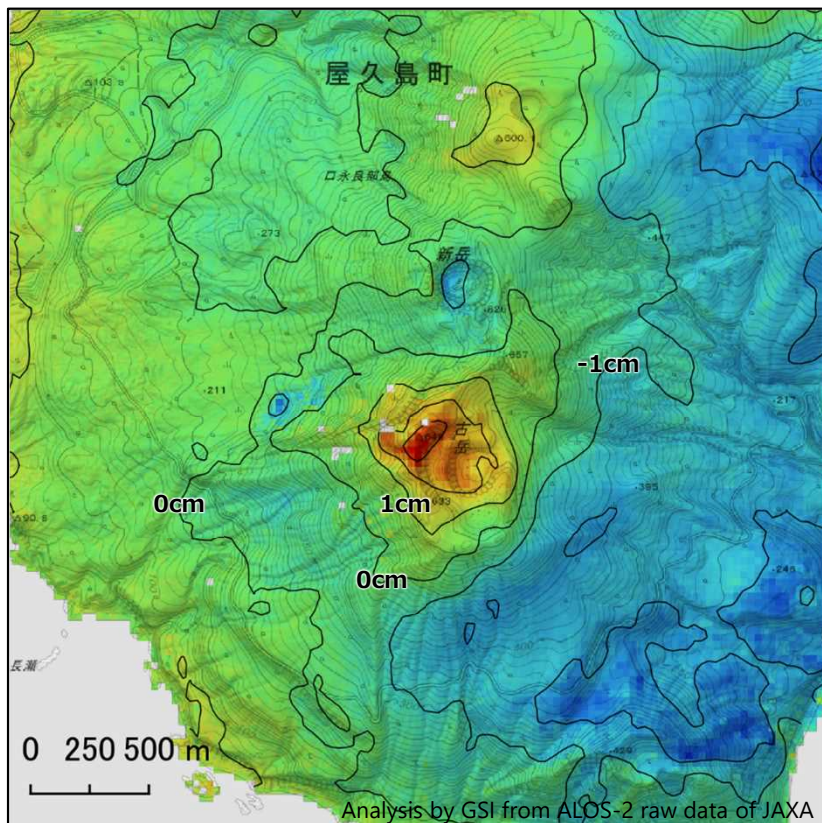


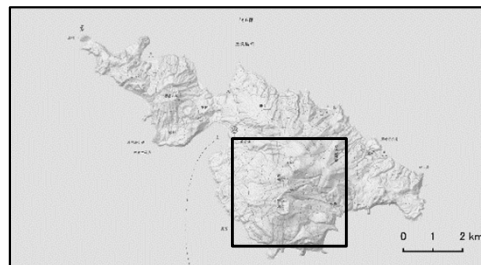
## 口永良部島の2.5次元解析結果

古岳山頂に約3cm※の隆起が見られます。古岳山頂を境とした西側に約3cm※の西向きの変動、東側に約1cm※の東向きの変動が見られます。（※暫定値）

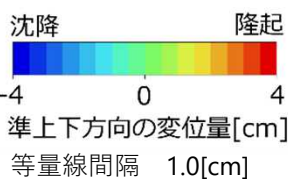
### 準上下方向



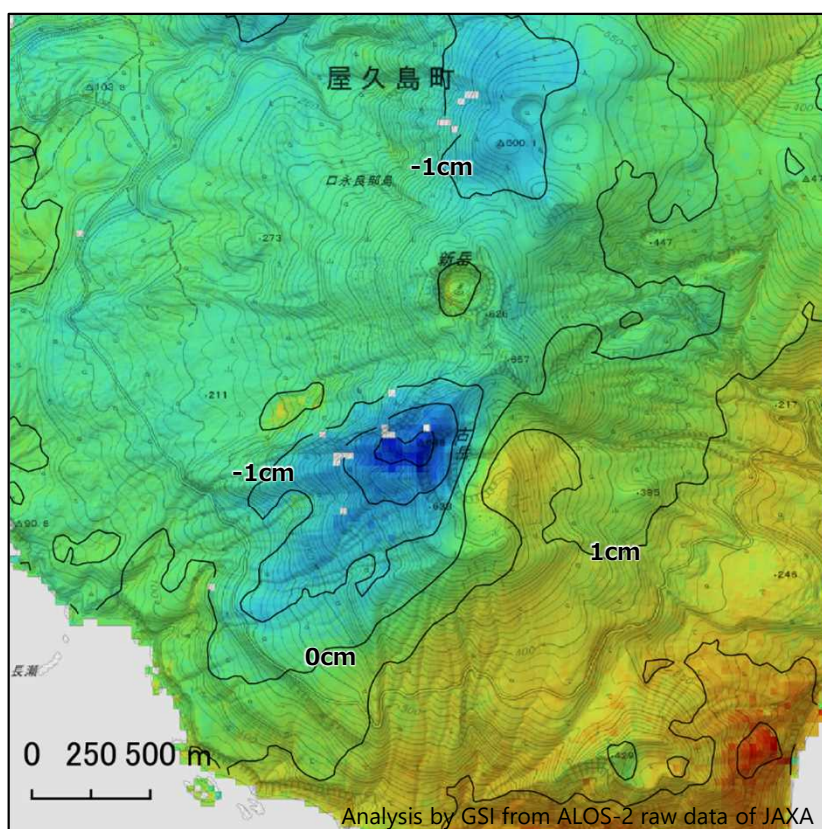
### 表示範囲



※準上下方向の古岳東側に広く見える沈降及び準東西方向の古岳南東側に広く見える東向きの変動は気象の影響によるノイズと思われます。



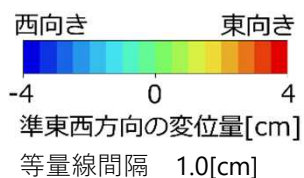
### 準東西方向



	(a) <sup>*2</sup>	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測期間	2023-04-14 ～ 2023-07-07 (84日間)	2022-10-21 ～ 2023-06-30 (252日間)
衛星進行方向	南行	南行
電波照射方向	右(西)	左(東)
観測モード <sup>*1</sup>	U	U
入射角	55.1°	34.1°
偏波	HH	HH

\*1 U：高分解能(3m)モード

\*2 時系列解析による変動量を使用

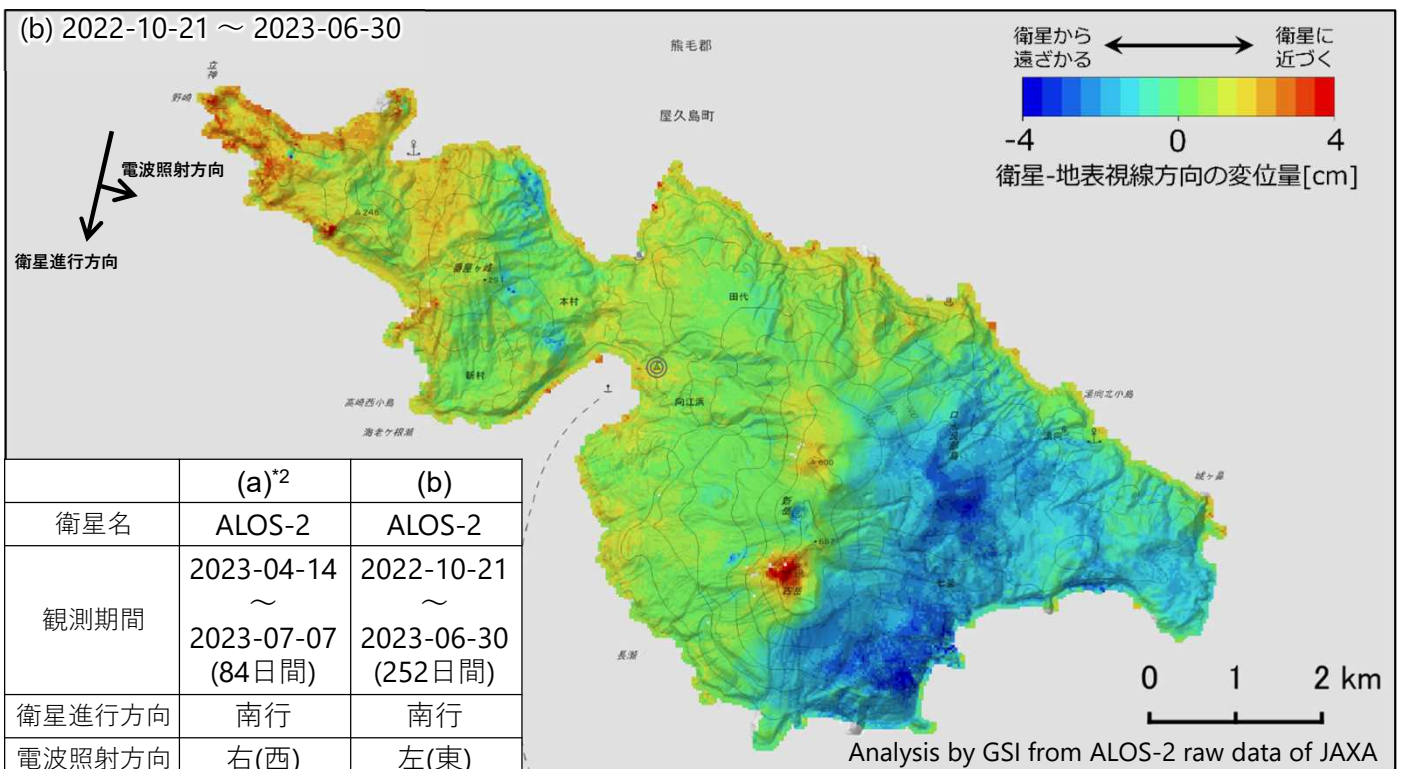
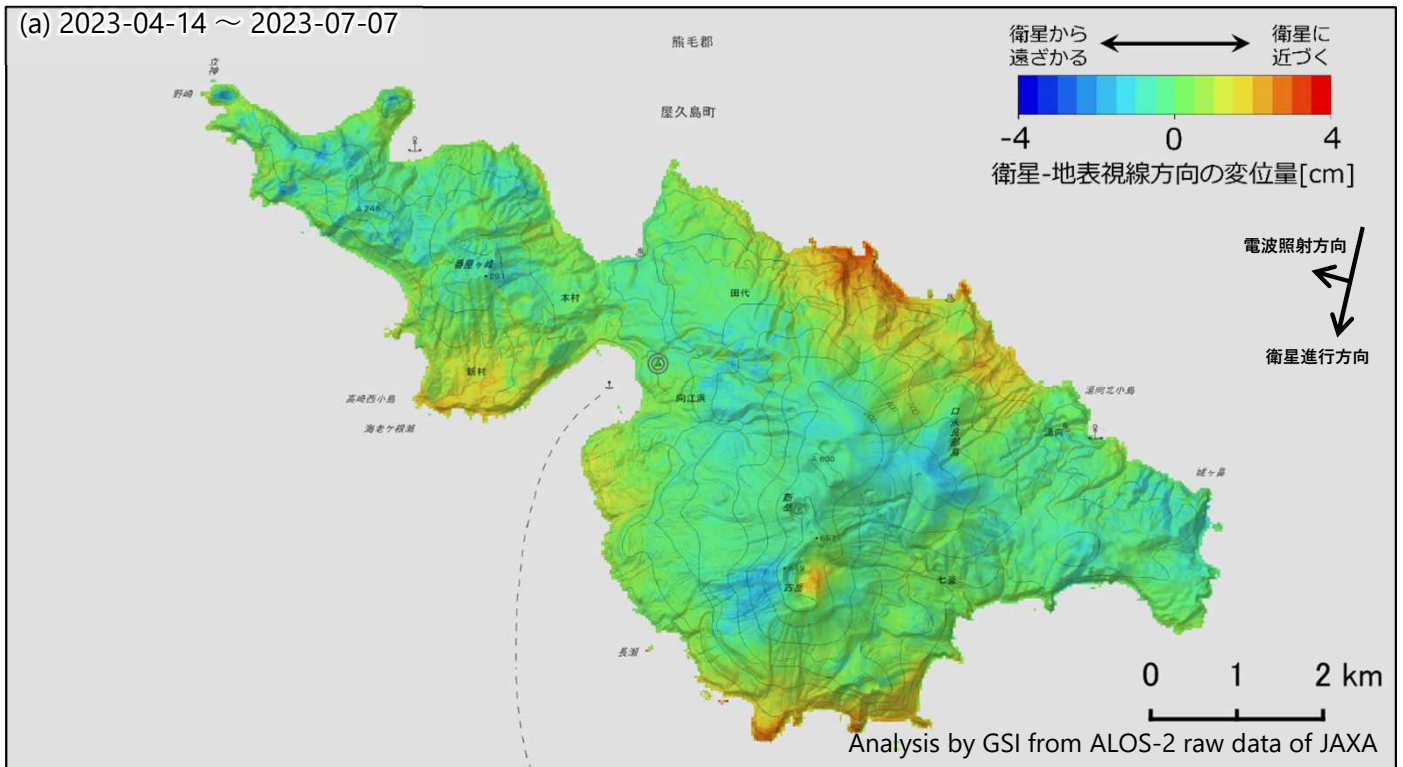


口永良部島

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータの一部は、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

口永良部島の2.5次元解析に用いた画像



	(a)*2	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測期間	2023-04-14 ~ 2023-07-07 (84日間)	2022-10-21 ~ 2023-06-30 (252日間)
衛星進行方向	南行	南行
電波照射方向	右(西)	左(東)
観測モード*1	U	U
入射角	55.1°	34.1°
偏波	HH	HH

◎ 国土地理院GNSS観測点

\*1 U：高分解能(3m)モード

\*2 時系列解析による変動量を使用

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

口永良部島